

令和4年度学校評価報告書（全日制課程）

1 本年度の重点目標

- 1 高い学力と幅広い社会性を身に付けた、将来のリーダーとなり得る人材を育成する。
- 2 主体的に思考・判断し、適切に対話することができる、創造性あふれる人材を育成する。
- 3 個人と集団の調和を保つことのできる、自律的かつ調和的な人材を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動に対する評価】（全日制課程）

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導 1～9	①観点別学習評価への移行に取り組んだ。 ②令和4年度入学生から1人1台端末（BYOD）が導入され、授業におけるICTの活用に取り組んだ。 ③教科内の指導方針の一致と、授業内容の共有を図った。 ④普通科の「総合的な探究の時間」において、探究スキルを育成す取組を行った。	・良好である。 ・ICT活用に注力するとともに、直接のコミュニケーションも大切にしていきたい。 ・観点別学習評価を更に進め、生徒の学力向上につながる授業評価・改善とあわせて取り組んでいただきたい。 ・1人1台端末は今後の緊急事態にも対応でき安心できる活用の推進を期待できる。
改善方策	観点別学習評価の一層の推進によって、生徒の主体的な取組による学力の向上、自己効力の向上を図るためのカリキュラム・マネジメントを推進する。 1人1台端末を活用した授業改善の取組を推進する。	
生徒指導 10～14	①いじめアンケートの結果について、教職員向けに傾向分析を含むフィードバック用資料を新たに作成し、生徒の実態の共有に努めた。 ②分掌のみならず、学校全体で校内外の巡回や生徒への声かけを行い、生徒の実態把握に努めた。 ③感染症対策を徹底し、生徒主体で各種行事を運営した。 ④ネットパトロールの頻度を増し、生徒のインターネット利用の実態把握に努める必要がある。 ⑤スマートフォン等の情報端末を適切に活用することができるような指導を行った。	・良好である。 ・生徒との直接のコミュニケーションを大切にし、課題を克服していただきたい。 ・スマートフォン等の適切な利用・情報リテラシーに関する生徒の実態把握（SNS対応の在り方）に注力していただきたい。 ・より適切なスマートフォン等の利用、活用の指導をお願いします。
改善方策	道徳教育や人権教育を充実させ、高いレベルで生徒の主体性と協働性の育成を目指し、高い人間性を育成していく。	
進路指導 15～19	①カリキュラムマネジメントの視点で進路指導の流れを再検討した。 ②小論文・面接指導について、学校全体に指導体制を拡大して実施した。 ③模擬試験について、学びの重点化と教員負担の軽減をはかりながら年間計画の策定に努めた。 ④進路データの利活用に向け、プライバシー保護の観点で踏まえ調整を図った。 ⑤オンラインを活用した入試動向等の情報収集、発信に努めた。 ⑥進路情報誌等の拡充を図った。	・良好である。 ・総合型選抜等対策について情報を集め、実績をあげてもらいたい。 ・キャリア教育をしっかり行い、生徒自身の生涯設計への目を開かせる進路指導をお願いしたい。 ・生徒一人一人に応じた進路指導は先生方の負担が大きいと思いますが、よろしくお願いします。
改善方策	キャリア教育の充実や進学講習の改善等について、3年間を見通した組織的な進路指導を推進する。	
健康安全指導 20～24	①感染症対策を行いながら、各種健康診断等を実施した。 ②昨年度より、面談週間を年間計画に位置付け実施した。 ③相談室の利用が、のべ約650名と昨年の約1030名から大幅に減少した。 ④相談室来室のべ数：約650名 面談件：約200件 （昨年約400件、利用者：約70名） 面談相談目的で自ら来室する生徒は少数で、こちらが声をかけて面談している。しかしながら、生徒のニーズに気づけていない状況が多くあるのが現状である。	・良好である。 ・生徒との直接のコミュニケーションを大切にし、課題を克服していただきたい。 ・スクールカウンセラーとの連携ほか、関係機関や病院等との更なる連携を進めていただきたい。 ・相談室の利用が大幅に減少したのは、感染症への慣れが影響しているのではないかな？
改善方策	個人情報保護に十分配慮しつつ、教員間での指導体制の充実を図り、生徒の自己肯定感や自己指導力を育成する。また、防災・減災への意識を高揚させる指導の充実を図る。	

【学校運営に対する評価】（全日制課程）

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり 25～28	①印刷物やWebページ、メール連絡網で学校の活動を周知した。 ②令和6年度からの普通科の学科転換を見据え、学校説明のための中学校訪問を実施した。（釧路管内、根室管内） ③報道各社へ随時周知を行い、教育活動の様子が掲載されている。 ④自己評価と反省会議、学校評価については関連を持たせて一体化できた。	・良好である。 ・生徒の多くが利用するLINE、Twitter、Facebookの活用も検討していただきたい。 ・難しいが、できれば在校生が出身校でアピールする場があればおもしろい。 ・市内の小学校にも湖陵の宣伝ポスターを貼ってはどうか。 ・普通科学科転換のキャッチコピー「スーパーな普通科」ととても素敵でインパクトがある。
改善方策	コンプライアンスを徹底し教育公務員としての自覚を高める。Webページの工夫・改善や積極的な中学校訪問・学校説明会等を通じて本校の「良さ」「強み」を家庭・地域にPRする。中高の教員間連携を強化する。 今年度設立した、KUSHIROハイスクールコンソーシアムを活用した取組を推進する。	
組織運営 29～33	①学年主導から、分掌が主導し学年を支える形が少しずつ進み始めている。担当係間の事前調整は前進してきたが、一層、分掌学年間の調整を円滑にしたい。 ②教育計画に評価の観点を盛り込み、それを基準に学校評価を行い反省会議に結びつけることができた。それを学校改善に結びつけるために、次年度計画に反映させたい。 ③分掌間の情報共有が増え、校内業務は少しずつ可視化されてきた。その結果、事前調整も行われる場面が増えた。 ④部長主任会議の役割が、会議題の整理や、スケジュール調整に留まらず、学校運営に広くまたがる課題の解決に向けて機能し始めた。この機能を定着させたい。 ⑤超過勤務時間は総じて多い。超過勤務が多い月は、職員によっていくつかのパターンがあり、今後はパターンごとの工夫が必要である。	・良好である。 ・ネット等も活用し、効率的な運営に取り組んでいただきたい。 ・風通しのよい職場づくりを更に進めていただきたい。 ・働き過ぎは体にも心にもよくない ・生徒と笑顔で接することができる職場環境を作って欲しい。 ・相変わらず、職員の超過勤務が多く気になります。
改善方策	部長主任会議を学校改善の中核に据え、計画的・定期的に改善策を検討し、保護者・地域との連携を深める。	
教職員の資質向上 34～37	①研修は計画的に行われている。今後はより実践的な研修を行う段階に入ると考える。 ②感染防止が先に立ち、思うように自己研修が進まないが、継続的な研修に取り組む下地を醸成したい。 ③節目ごとの面談で目標管理は少しずつ進んでいる。 ④機会ある度に服務に関する情報を提供し、教職員の規律を守る意識が保たれている。	・良好である。 ・授業・HR運営や部活動等に活かされる研修を進めていただきたい。 ・教職員の皆さんの忙しい中にも関わらず、より高い目標を持たれ研修されるのは頭が下がります。
改善方策	実践的な研修会の充実、教育者としての意識の高揚を図る。	
公表方法	学校ホームページ	

3 その他 ご意見等ありましたらお願いいたします。

・全定の周年事業、お疲れ様でした。
 ・普通科の学科転換のスムーズな移行と生徒や地域にとって魅力あふれる学校となることを期待します。
 ・「アイスホッケー部」の単独出場復活と全国大会1勝、寂れつつある氷都釧路にとって嬉しいの一言です。他の部活の頑張りに注目しています。